

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 作楽
日付	平成16年8月30日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホーム等での痴呆性高齢者介護歴 9年 介護支援専門員歴 4年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
サービスの内容や環境整備などについて、事業主・スタッフとの連携が取れておりホーム全体に統一性がある。
健康管理の面において、看護師が常駐していることから常時、健康チェックがされており、スタッフも入居者の健康面での相談が可能である。また、協力病院も近距離にあり、緊急時の対応もスムーズに行われている。
事業主の理念から、広々とした生活空間が確保され、それに伴いスタッフの対応も入居者の生活リズムに合わせゆったりと行われ、ホーム全体に落ち着いた雰囲気を感じられる。
A D L（日常生活の基本動作である 食事、更衣など身の回りの動作 移動動作）の保持・機能低下を防ぐため、体操などが取り入れられており、実際に介護度が軽くなるなど成果があがっている。
責任者・管理者を中心に向上意欲があり、職員の研修参加支援など積極的に行われている。
スタッフでまかなえない行事等の送迎など、母体の会社から「安全・衛生管理者」の資格を持った職員の応援が得られる。
特に改善の余地があると思われる点
日々の記録や介護計画は整理されているが、個々の生活歴の把握による課題分析が必要ではないでしょうか。
家族との連携のあり方、協力的でない家族への対応など、入居者・施設・家族をも含んだサービスの提供について検討が必要ではないでしょうか。
開設1年目のフレッシュなグループホームであり、今後もスタッフの専門性を高めていくために積極的に研修等の活用が必要ではないでしょうか。
地域に徐々に浸透しているようであるが、グループホームの有する痴呆性高齢者介護に関する専門機能を、今までより一層、地域に還元していただくのが良いのではないのでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅にいる時のように、できることは自分で行い、援助が必要な場合には援助を受けながら、ゆったりとした生活ができるよう生活を支援している。 ・スタッフに看護師を配置し、バイタルチェック等を通じて健康面での変化にすばやく対応している。 ・各ユニットに痴呆介護の経験者を配置し、管理者の看護師とともにケアの向上を目指している。未経験のスタッフに対しては順次資格取得を促すと同時に支援も行い、職員の資質向上に努めている。 ・スタッフは常に入居者や家族の立場に立つことを心がけ、信頼される介護を目指している。 ・居室等の面積を基準よりも広くとり、また、中庭・広場・畑などがそれぞれ設けられており、広がりのある空間づくりを工夫している。 ・入居者の機能低下を防止するため、体操やゲームを取り入れ、入居者の日常生活動作の保持に努められている。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違え等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	共有部分の室内空間が全体的に広く、中庭・広場を含め開放感がある。各居室は入居者それぞれが、ベッドのほかに各自のなじみのものを持ち込んで特色のある部屋となっている。また、畳が利用できるよう用意されており、入居者・家族がくつろげるように配慮されている。 職員も管理者の指導のもと穏やかな対応を心がけており、落ち着いた雰囲気となっている。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	各スタッフが入居者のできることを尊重し、支援が必要な場合も押し付けでなくさりげなく支援されている。調理を手伝う人、片付ける人、洗濯物を干す人、たたむ人など自分の関心のあることや出来ることが自然にされている。 また、細工の得意な入居者がつくったものをホーム内で活用するなど個人の能力を受け入れる雰囲気がある。 入居者の身体機能の維持向上に力を注ぎ、維持、改善が多くの入居者に見られる。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	入居者本人の生活に対する本来の力を、最大限に生かせるように、身体機能の維持回復のため、責任者を中心に各スタッフが協力して介護にあたるよう努力している。 また、各スタッフも個人の能力向上のために資格取得の機会を活用しており、事業主もその努力が報われるような処遇を行っている。		